



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社かわでん

上場取引所 東

コード番号 6648 URL <https://www.kawaden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相澤 利雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 神保 能郎

TEL 03-6433-0135

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,318	6.8	181	78.5	188	76.5	128	74.6
2022年3月期第3四半期	13,403	0.9	842	7.4	802	10.7	503	10.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.97	
2022年3月期第3四半期	157.33	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	20,874	15,159	72.6	4,732.52
2022年3月期	20,562	15,280	74.3	4,770.35

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 15,159百万円 2022年3月期 15,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		40.00	80.00
2023年3月期		40.00			
2023年3月期(予想)				40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	1.1	600	34.0	580	41.8	380	41.3	118.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,192,000 株	2022年3月期	4,192,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	988,786 株	2022年3月期	988,786 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,203,214 株	2022年3月期3Q	3,203,214 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているものの、行動制限の緩和などによる効果から景気の持ち直しがみられました。企業収益の改善基調により民間設備投資においても緩やかな増加が見られましたが、その一方で原材料価格の高騰や資材調達が困難な状況から先行きは不透明な状況となっております。

当社は、このような状況下で全力を傾注し営業活動に取り組み、14,318百万円（前年同期比6.8%増）となりました。利益につきましては鉄鋼材・銅材など市況商品及び電気部品の高騰に加え、電力料・燃料費の上昇により材料費・経費を押し上げており、さらには電気部品供給遅延に伴う生産効率悪化の影響などにより営業利益は181百万円（前年同期比78.5%減）、経常利益は188百万円（前年同期比76.5%減）、四半期純利益は128百万円（前年同期比74.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

売上債権が493百万円減少したものの、現金及び預金が714百万円、棚卸資産が626百万円それぞれ増加いたしました。これらの結果、流動資産合計は前事業年度末比487百万円（3.4%）増加し、14,835百万円となりました。

(固定資産)

有形固定資産が139百万円、無形固定資産が18百万円、投資その他の資産が17百万円それぞれ減少いたしました。これらの結果、固定資産合計は前事業年度末比175百万円（2.8%）減少し、6,038百万円となりました。

(流動負債)

賞与引当金が162百万円減少したものの、買掛金が240百万円増加いたしました。これらの結果、流動負債合計は前事業年度末比407百万円（10.0%）増加し、4,499百万円となりました。

(固定負債)

長期借入金が33百万円減少したものの、退職給付引当金が39百万円増加いたしました。これらの結果、固定負債合計は前事業年度末比25百万円（2.2%）増加し、1,215百万円となりました。

(純資産)

四半期純利益128百万円の計上があったものの、前事業年度の期末配当128百万円及び当事業年度の中間配当128百万円の支払いにより利益剰余金が128百万円減少いたしました。これに加え評価・換算差額等が7百万円増加となり、これらの結果、純資産合計は前事業年度末比121百万円（0.8%）減少し、15,159百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、当社の業績予想は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,681	7,395
受取手形及び売掛金	4,823	4,329
製品	1,198	1,680
仕掛品	473	486
原材料	552	683
その他	637	282
貸倒引当金	△17	△22
流動資産合計	14,348	14,835
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,659	2,691
その他（純額）	2,275	2,103
有形固定資産合計	4,935	4,795
無形固定資産	235	217
投資その他の資産		
繰延税金資産	459	415
その他	584	646
貸倒引当金	—	△36
投資その他の資産合計	1,043	1,025
固定資産合計	6,214	6,038
資産合計	20,562	20,874
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,107	2,348
短期借入金	558	483
1年内返済予定の長期借入金	258	279
未払法人税等	41	12
賞与引当金	504	342
その他	622	1,034
流動負債合計	4,092	4,499
固定負債		
長期借入金	254	221
退職給付引当金	823	862
役員退職慰労引当金	89	112
資産除去債務	17	17
その他	4	2
固定負債合計	1,189	1,215
負債合計	5,281	5,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,124	2,124
資本剰余金	1,476	1,476
利益剰余金	13,418	13,290
自己株式	△1,862	△1,862
株主資本合計	15,157	15,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122	129
評価・換算差額等合計	122	129
純資産合計	15,280	15,159
負債純資産合計	20,562	20,874

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	13,403	14,318
売上原価	9,630	10,878
売上総利益	3,772	3,439
販売費及び一般管理費	2,929	3,258
営業利益	842	181
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	12
受取賃貸料	3	3
受取保険金	4	4
保険配当金	2	2
助成金収入	—	16
その他	8	7
営業外収益合計	30	46
営業外費用		
支払利息	3	4
売上債権売却損	29	31
保険解約損	30	—
その他	6	4
営業外費用合計	70	39
経常利益	802	188
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	10	18
特別損失合計	10	18
税引前四半期純利益	791	170
法人税、住民税及び事業税	109	59
法人税等還付税額	—	△69
過年度法人税等	—	12
法人税等調整額	178	39
法人税等合計	287	42
四半期純利益	503	128

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。